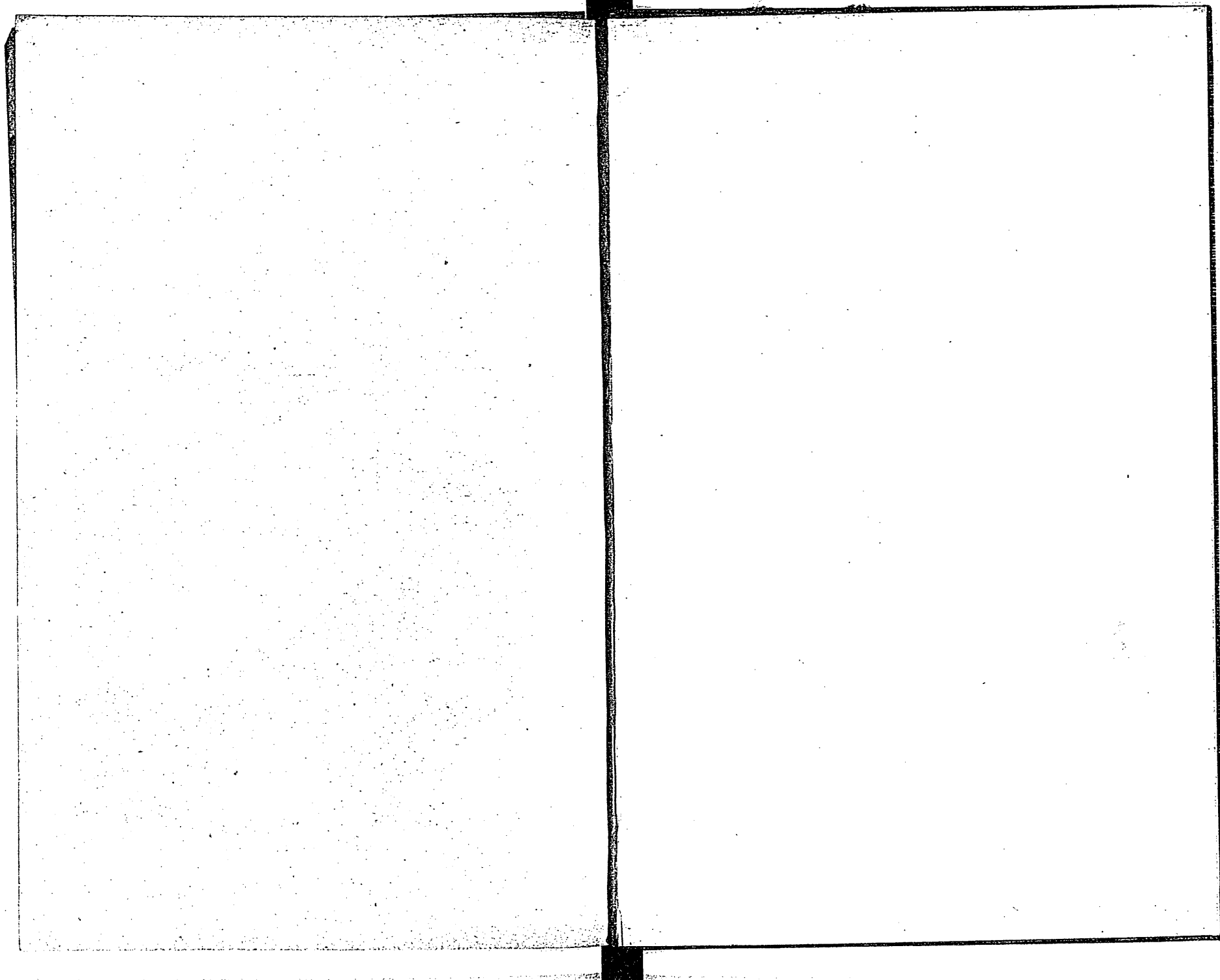


K220.29

36a

3





野口保興著

下卷

中等
教科

外

國

地

理

明治

42 2 8

丙午

東京

目黒書店
成美堂書店
合梓

中等
教科

外國地理

例言

- 一 本書は中等教育の地理科教授用に充つる爲に編纂せしものにして、帝國地理、地文大意と相俟つべきものなりとす。
- 一 地圖を本書に挿入するは使用上不便少なからざるべしと信じ別に、外國新地圖を著作して参照用に供せり。
- 一 本書には米突的度量衡法を用ひたるを以て参照の爲同法に屬せざるもの一二を左に併記せり。
 - 一米突(メートル)
 - 一米突(キロメートル)
 - 三尺三寸
 - 九町十間

- 一 糧(センチメートル) 三分三厘
- 一 耗(ミリメートル) 三厘三毛
- 一 方料 百町八段三畝十歩
- 一 噸(一に佛噸と云ひ主として軍艦の排水量を測るに用ふ) 二百六十六貫六百六十七匁
- 一 哩(マイル) (陸上の距離を測るに用ふ) 凡そ十四町四十五間
- 一 湮(マイル) (一に海里と云ふ海上の距離を測るに用ふ) 凡そ十六町九分七厘五毛
- 一 普通噸 (西洋形商船の大さを測るに用ふ) 凡そ四十立方尺
- 一 溫度は總て攝氏寒暖計即ち百度法に依れり。

中等教科 外國地理目次

上卷

- あじあ洲.....一
- おせあにあ洲.....七六

中卷

- よろろば洲.....一
- あふりか洲.....七七

下卷

- あめりか洲.....一
- 汎論.....四九

中等
教科

外國地理下卷目次

あめりか洲

總論

北あめりか

グリーンランド

カナダ

ニッファウンドランド

ベルムダ諸島

フランス領

アメリカ合衆國

メキシコ

中央アメリカ

目次

一
一六
一七
二一
二一
二二
二三
二四
二五
二六
二七

アンチル諸島

三四

南あめりか

コロンビア

三七

エクアドル

三七

ペルー

三九

ボリビア

四〇

チレー

四〇

ベネズエラ

四一

ガイアナ

四二

ブラジル

四二

パラグアイ

四五

ウルグアイ

四五

アルヘンチナ

四六

フォークランド

四八

汎論

住民

四九

生業

五七

政治

七六

殖民

八二

探検

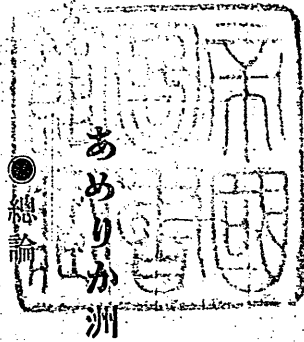
八八

概説

九九

中等外國地理

野口保興著



境域

アメリカ(亞米利加)洲は一に新世界と稱せらる、アジア
洲に次げる大洲にして殆ど同一の形狀を有する大小二個の
大陸より成り、大なるを北アメリカ、小なるを南アメリカと
云ひ、總面積は四千一百萬方浬を超え、我が國の九十倍以上
に達す、北は北極洋に臨み、東はヨーロッパ、アフリカの二大洲

大西洋を挟み、西は太平洋を隔てて遙にアジア、オーストラ

緯線

極北	マイチソン岬	北緯	七一	五〇
極南	フロリダ岬	南緯	五三	五四
極東	フランコ岬	西經	三四	四六
極西	プリンスオブウェールズ岬	西經	五七	五九

海岸

地形 海岸線の屈折は西岸より東岸に多く、南アメリカより北アメリカに著しく、島嶼に富めるは北岸と中部なり。

海灣

北極洋	メルビル海	ブーシア灣
大西洋	バフィン灣	ハドソン灣
	メキシコ灣	カリブ海
太平洋	パナマ灣	カリフォルニア灣
	パロースミス	デービス
	ハドソン	ベリリング海
東部	ベルアイル	カボット
		フロリダ
		ユカタン

海峡

山岳

南部	マガリネス
西部	ベリリング
北部	ブーシア
東部	ラブラドル
西部	カリフォルニア
地峽	テウアンテペク
北部	パロ
東部	チャールス
西部	パリナ
北部	バーリー諸島
東部	ニーフアランド諸島
南部	フーランド諸島
西部	バンクーパー島
島嶼	アレクド列島

山脈の趨勢は甚單純にして主山脈は東西の二派より成れり、西派山脈はロッキー、マウンテンズ、アンデス等の諸山脈を

含み、火山井に秀峰に富める隆起帶をなし、アコンカグア山



高き峰（アコンカグア山）

は新世界の最高峯、世界第一の火山なり、東派山脈は斷續常なくして顯明を缺き、其の海拔高からざるも三千米突に達することなきにあらず、而してロッキーマウンテンズとアレガニー山脈との間にはミシシッピの大平原即「プレーリー」あり、南アメリカの低地は「リアノス」、「セルバス」、「パンパス」等より成れり。

アラスカ山脈 マッキンレイ(六二三七)
ロッキーマウンテンズ山脈 フーカ(四七〇八)
シエラマドレ山脈
メキシコ諸山 オリザバ(五五八二)
地峽山脈 フエゴ(三八三五)
中部
ベネズエラ山脈 シエラネバダ(五一〇〇)
南部 アンデス山脈
コロンチド山脈
北部
アレガニー山脈 ミシシッピ(二〇三八)
大アンチル列島 シエラデシバオ(三二四〇)
小アンチル列島
グアイアナ山脈 ロライマ(二六六三)
ブラジル山脈 イタチア(二九九四)

ロッキーマウンテンズ

西はシエラネバダ、カスケードと相對して高臺を抱き、東は大平原に緩斜す、最

アンデス山脈

河流

高峰は五千米突に達せずして脈勢海拔共に遙にアンデスに劣れり。アンデス山脈は南アメリカの西部に偏在して太平洋に逼り、長七千二百裡あり、或は二脈をなし或は三脈と成り、六千米突以上の秀峰少なからず中には今尙火山の活動するものあるがアコンカグアは消火山なりとす。



アマゾン河の風景

アメリカ大陸は北極洋、大西洋、太平洋の三大斜面に分かるるも、太平洋斜面は狭長なれば巨流の存するを見ず、北極洋斜面は稍廣大なるも降雨多からざれば顯著なる水流に乏し、獨大西洋斜面は廣大なるのみならず、雨量の饒多なる地に乏しからざれば、河流にはセントローレンス、ミズーリ、ミシシッピ、オリノコ、ア

マゾナ、ラプラタ等あり、就中ミズーリ、ミシシッピは世界の最長流なり。

河流表				斜面	
北極洋				大河	
マッケンジー				河名	
ネルソン				河長	
セントローレンス				流域	
ミズーリ				支	
リオグランデデルノルテ				流	
オリノコ				域	
アマゾン				支	
サンフランシスコ				流	
バラナ				域	
ブラタ				支	
コロラド				流	
三〇〇				域	
五五〇				支	
二九〇				流	
四七〇				域	
三〇				支	
五九				流	
グアビアレ				域	
マデイラ				支	
リオネグロ				流	
バラグアイ				域	
ウルグアイ				支	
グアタ				流	
アルカンサス				域	
オハイオ				支	
ベコス				流	
オタワ				域	
サスカチワン				支	
アサバスカ				流	
ビス				域	
一六				支	
一八				流	

セントローレンス

ミズーリー
ミシシッピ

アマゾナ

平	洋
コロンビア	ユーコン
二〇〇〇	三〇〇〇
六	九
スネーク	コユクク

セントローレンス河はオンタリオ湖の水を受けオタワ、其の他の支流を合はせて一大巨流をなしセントローレンス灣に朝す交通上に利便を供するものと甚大なり。

ミズーリー河は河流の王にして六千五百軒以上の長を有す、ミズーリー河はロッキーマウンテンズに發しダコタ、イェローストーン等の支流を受けミシシッピに入る、ミシシッピ河は源をイタスカ湖に發しオハイオ、アルカンサス、レックス、ドリバー等を合はせ異様の三角洲をなしてメキシコ灣に入る、オハイオの河口より下流には壯大なる堤防あり。

アマゾナ河はペルーのアンデス山脈に發源しセルバスを流れて赤道の下に於て大西洋に入る、長五千五百軒ありて平均水量は八萬立方米突に達し、潮汐は八百五十軒の上流に感ず、支流は二百以上あるが其の中約一百は航行の便を與へ、右岸のウカヤリ、フルア、マデイラ、タパヒス、シング、トカンチン、左岸の

ラブラク

湖沼



水掛アイナラガラ

ナボヅマ、ミヤブラ、リオネグロを以て主なるものとす而してリオネグロはオリノコと連絡せり、ラブラク河はパラグアイを合はせ、サラドの水を受くるパラナ河、ブラジルより来るウルグアイ等より成り長約三百二十軒に過ぎざれどもパラナを源流とすれば四千七百軒の長流と成りて幅はブエノスアイレスに於て四十五軒に達せり。

湖沼に就きては南アメリカには著大なるものなきも、北アメリカの北部には大湖多く、スベリオル、ミシガン、ヒューロン、エリー、オンタリオの名殊に高し。

スベリオルは世界第一の淡水湖にしてミシガン、ヒューロン、エリーの諸湖と通ず、エリー湖の水はナイアガラ河と成り有名の瀑布をなしたる後、オンタリ

氣温

降雨

降雨

湖沼	面積	海拔
グレートベア	二、〇五〇	一九
グレートスレープ	二、二五〇	二六
アサバスカ	一、一〇〇	二〇
ウィンニベグ	二、三〇〇	二六
スベリオル	八、〇〇〇	一八
ミシガン	五、八四〇	一七
ヒューロン	六、一四〇	一七
エリー	二、五八〇	一五
オンタリオ	一、八七〇	七五

大抵暖和なるが、南端は大に寒冷を感ず。降雨に就きては北部に於て其の量乏しからずして、南部は概多雨の地なれど

オホシロ入る、ナイアガラ瀑布は五十米突の高、六米突乃至十米突の水層を有、分かれて二部と成り、其の幅大なるは六百米突、小なるは二百七十米突あり。

氣候 北部の大地は氣温甚低しと雖、太平洋岸の地并に大西洋に瀕して灣流の恩恵を蒙むる地は氣温概低からず、而してノギシコ灣に接する地は溫度極めて高く、中部に於ては暑氣概して強し、また南部は

も、兩部とも寡雨の地域、北に於ける北西平野、南西高地、南アメリカに於けるアンデス山脈の西面を包有せり。天産 本洲は各種の天産に富み、鑛物には金、銀、銅、鐵、鉛

鑛物

人口

植物



【カネナリア】スカッシュ状樹と地平的ブツエス

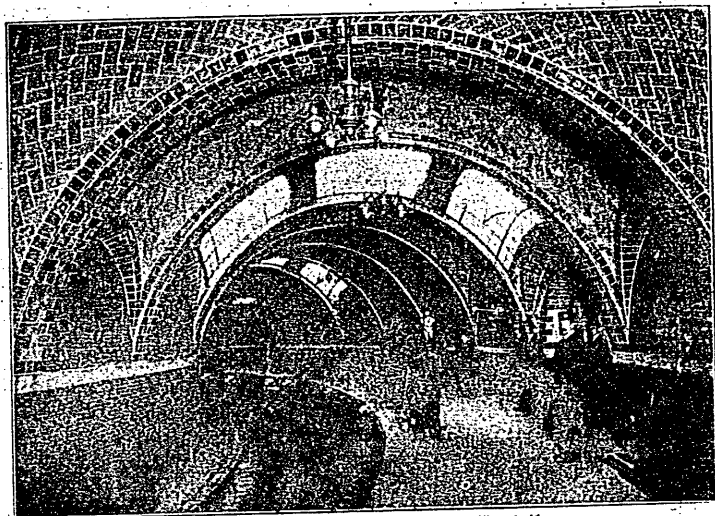


ルアグエジと(狼)ルピタ

石炭、石油、等あり、植物には「キナ」、「ココア」、「マホガニー」、「タバコ」、「コカ」、「マテ」等あり、

動物

人口



【ク - ヨ - ヴ =】 地下鐵道停車場

動物は概して巨大ならずと雖「ジャグアル」、「クダール」、河狸、狼、羊駝、穿山甲、金鷲、響尾蛇、「コチニール」等の特産を見る。

住民 アメリカ洲の

人口は一億六千萬に達せずして密度はアフリカに劣る、之を種族別に爲せば白人(八千二百萬)最多くして、アメリカ土人及雜種(三千四百萬)、黒

人及「ムラト」(三千萬)、支那人及「エスキモ」(四十萬)、等之に次ぐ、また宗教別にせば新教(七千一百萬)、ローマ公教(六千萬)、ユダヤ教(百六十萬)、異教(一千二百萬)、等を得るなり。

生業 本洲はコロンブスの發見以來未だ五百年を経過せず、住民概して少なけれども有爲なるヨーロッパ人の來住するもの漸く多くして、各種の天產次第に利用せられたるのみならず、移殖に係るもの少なからず、されば林業、狩獵、牧畜、水産、耕種、採鑛等發達して工業も漸次に起り、貿易高、商船の噸數等は五大洲中の第二位を占め、鐵道の延長は第一たるに至れり。

分國 本洲には二十一の共和國ありて其の他はイギリス、オランダ、デンマーク、フランス、等の間に分領せらる。

分國表

部	邦	土	面	積	人	口	密度	首	府
北	グリーンランド	デンマ	八、八〇〇	一、八九五	〇、一	〇、一	〇、一	セントジョン	
	イギリス領	ルク領	九七、八四三〇	五五、二八六	〇、六	〇、六	〇、六	オタワ	
部	カナダ		九百、九七〇〇	五〇、四三六	〇、六	〇、六	〇、六	セントジョン	
	ニューファウンドランド		二一、〇七〇	二二、六四三	〇、二	〇、二	〇、二	セントジョン	
部	ラブラドル		一、八〇〇〇	四〇〇九	〇、二	〇、二	〇、二	セントジョン	
	ベルムダ		五〇	二、〇三六	四〇四	四〇四	四〇四	セントジョン	
部	フランス領		二四三	六四八二	二七	二七	二七	セントジョン	
	アメリカ合衆國		九四二、〇六〇	七六三〇、三六七	ハ	ハ	ハ	セントジョン	
部	メキシコ合衆國		一九、七〇二	一六〇、七三九	セ	セ	セ	メキシコ	
	イギリス領		一、九五八〇	三、九六六	二	二	二	ベリゼ	
部	グアテマラ共和国		二一、三〇〇	一八四、二三四	一五	一五	一五	グアテマラ	
	ホンデュラス共和国		二一、四六七〇	五〇、〇二六	四	四	四	テグシガルバ	
部	サルバドル共和国		二、二六〇	一〇六、八六〇〇	五〇	五〇	五〇	サルバドル	
	中央								

部	邦	土	面	積	人	口	密度	首	府
中	メ		二、八四四〇	四二、九三〇	三	三	三	マナグア	
	ニカラグア共和国		四、八四〇	三三、四九七	七	七	七	サンホセ	
部	カリ		八、七四八〇	四〇、〇〇〇	四	四	四	バナマ	
	パナマ共和国								
部	西		二、八三三	一五七、二七九七	一三	一三	一三	ハバナ	
	キューバ共和国		二、八六六	一四三、五〇〇	五〇	五〇	五〇	ホルトブレンス	
部	度		四、八五七	四一、六〇〇	九	九	九	サントドミンゴ	
	ドミンゴ共和国		九三二四	九五、三四三	一〇三	一〇三	一〇三	サンファン	
部	諸		三、一七四	一六、二六九	五三	五三	五三		
	イギリス領		三八六	三八、九四二	一三六	一三六	一三六		
部	島		二、一三〇	五、三六五	四七	四七	四七	ウイルレムスタット	
	オランダ領		三五九	三、〇五三七	九九	九九	九九	クリスチアンスタット	
部	南		一〇九、一〇九	四六三、〇〇〇	四	四	四	ボゴタ	
	コロンビア共和国		三〇、七四三	一二七、二〇〇	四	四	四	キトリ	
部	エクアドル共和国		一七、九〇四	四五、九三〇	二、六	二、六	二、六	リマ	
	ペルー共和国								

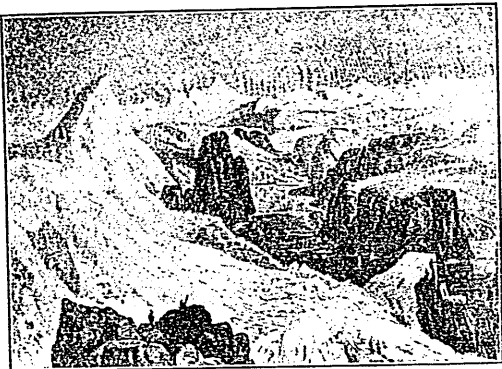
部			
ボリビア共和國	一三、六〇〇	一七、四〇〇〇	一、四 スケレ
チレー共和國	七五、七六六	三〇、五九二	四 サンチアゴ
ペネズエラ合衆國	九四、三〇〇	二五九、〇九八	二 カラカス
イギリス領	二四、六四六	二九、五二三	一、三 ジョージタウン
グイヤナ オランダ領	二、九〇〇	九、一〇〇〇	〇、一 パラマリボ
フランス領	七、八九〇	三、二九〇八	〇、四 カイイェンス
ブラジル合衆國	八五、八二八	一四〇、〇〇〇	一、七 リオデジャネイロ
パラグアイ共和國	五、三〇〇	六三、一四七	三 アスンシオン
ウルグアイ共和國	一八、六九六	一〇三、八八六	四 モンテビデオ
アルヘンチナ共和國	二八〇、六〇〇	五七〇、〇〇〇	二 ブエノスアイレス
フォークランド	一、二五三	二〇九	〇、二 ポートスタンリー

北あめりか

⑧ グリーンランド

グリーンランドはアメリカの北東にあり、世界第一の大島にして面積は

境域



【ドンラソーリグ】ドルヨフ フセヨ ツンラフ

我が國の五倍に近し、気温は甚低く内部の「インランドシス」は不滅の氷雪にて蔽はれ生物を見ること稀なるが、西岸は結氷の障礙稍、少なし、住民は氷屋に住するエスキモ、雜種多くして獵獸捕魚を務む、政治上沿海の有民地はデンマルクに屬せり。

⑨ カナダ

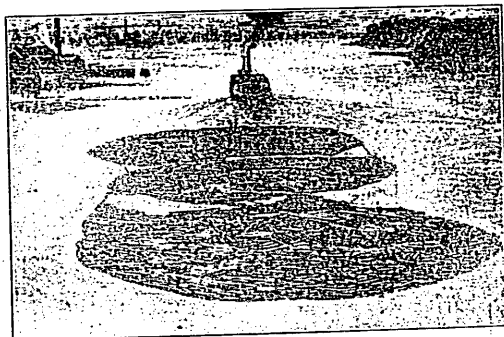
カナダはバフィン灣及デービス海峡を隔ててグリーンランドと相對し、東は大西洋に沿ひ、南は合衆國と境し、西は太平洋に臨み、且アラスカに隣し、北は北極洋に臨む、面積は殆どヨーロッパと匹敵せり。

北岸には島嶼多く、グリーンシア半島のマーチソン岬はアメリカ大陸の極北

あめりか洲カナダ

土地

氣候



〔河スレーロトンセ〕搬運の材木

部をなし、ハドソン灣とセントローレンス灣との間にはラブラドルと稱する大半島突出す、湖沼は甚多く、河流にはセントローレンス、ネルソン、マッケンジー、ユーコン等あり。

土地は三部に區分するを得、大湖及セントローレンスの流域に當るカナダ地方、廣漠たる平低の地より成る北西大平野、山岳高地と狹灣、島嶼に富めるコロンビア地方之なり。

氣候は概大陸的にしてカナダ地方は寒威甚しきも松柏科の樹木に富める天然林の翳鬱たる處あり、北西大平野は寒氣極めて凜烈にして到底人生の繁榮を見る能はざるべく、コロンビア地方は氣溫甚しく低

生業

政治

下せずして降雨多く、耕耘に適する土地も少なからず。來住者の數は毎年十數萬あるも、人口の密度は今尙高からず、而して土人は甚少なく、住民の大多數は白色人種に屬し、イギリス人、フランス人を以て主要なるものとす。

農業は穀類を栽培し、牧業は數千萬の畜類を養ひ、「チーズ」「バター」の産夥しく、林業は多量の木材を與へ、漁業、鑛業共に盛にして、獵業にも見るべきものあり、輸出品には木材「チークス」小麥、金、豚肉、牛等あり、主にイギリス、合衆國等と取引せらる、而して鐵道は大陸を横斷す。

カナダ領國は九州七領土より成りてイギリスに屬すれども專自治に依るを以て實際に於ては殆ど獨立國たるが如し、總督はイギリス皇帝の任命する所にして議會は二院よ

り成れり。

モントリオール

トロント



ル・オ・リ・ト・ン・モの季冬

首府オタワは同名の河に沿ひ木材を集散す、領國の最大都會たるモントリオールはセントローレンス、オタワ兩河の會點に近くして商業盛なり、ケベックはセントローレンスの左岸に建ち木材市場として知らる、ハリフクスはノバスコチア半島の東岸にありて不凍の良港を有し、交通并に軍事の要地たり、トロントはオンタリオ湖に沿ひ領國第二の都會にして商工業の中心なりとす、バンク

ーバーは鮭の産多きフラザー河の口にありてカナダ太平

洋鐵道の開通以來繁華に赴けり、ビクトリアはバンクーバー島にありて錨地を有し、エスキモルト軍港を距ること遠からず、ドーソンシチーは金の産出地として聞ゆるクロンダイク地方にあり。

⑤ ニューファウンドランド

ニューファウンドランド島はセントローレンス灣の口に横たはり、ラブラドル半島の東部と共にイギリスの自治殖民地たり、住民は盛に漁業を營み、鰹、海豹等の産に富む。

⑥ ベルムダ諸島

ベルムダは世界最北の珊瑚島なり、氣候溫和にして冬季の住所に適し、ニューファウンドランド、西印度の中間、アメリカ合衆國の東方にあるを以て兵事上の要地なり。

⑦ フランス領

あめりか洲 ニューファウンドランド

ニッファウンドランドの南に於ける數嶼にして漁業盛なり。

●アメリカ合衆國

アメリカ(亞米利加)合衆國は北の方カナダに接し、東は大西洋に臨み、南はメキシコ灣に面し、且メキシコ國と境を交え、西は太平洋に限らる。面積はアラスカ、ハワイを合はせば、^日略ヨーロッパに等しく、我が帝國の二十一倍に近し。

海岸は屈曲少なからず、東部にチサピーク灣、南東部にフロリダ半島、西部にサンフランシスコ港等あり、南東岸は卑濕なり、島嶼には大なるものなきも、大西洋のロングアイランドを以て著しとす。

西部にはロッキーマウンテンズありて、カスケード山脈、沿岸山脈、シエラネバダと共に高臺地を抱き、東部には海拔著

境域

海岸

山岳

しからざるアレガニー山脈あり、中間に存する大平野即「プレーリー」は起伏に乏しく、地味肥え、南部に進めば大西洋沿岸平野と相連續す。

河流

河。流は大西洋斜面にハドソン、

デラウェア、太平洋斜面にコロ

ビア、コロラド等ありて、メキシコ

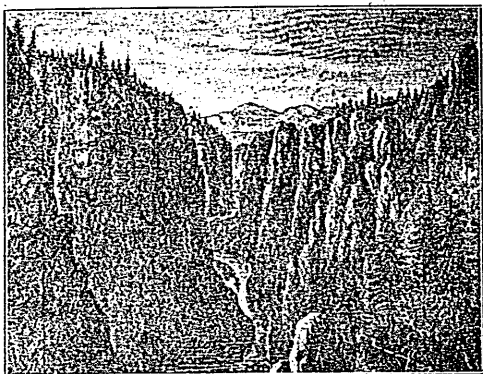
灣斜面には世界最長の名あるミ

ズーリー||ミシシッピ并に國境をな

せるリオグランデ、デルノルテあ

り、湖沼は北東方面の五大湖最、名を知られ、ミシガン湖は全部當國內にあり、また西部の高地には鹽

湖沼



【河ネートスーロエイ】ンオニカ

氣候

分多きグレートソルトレークあり。

コロラド河はロッキーマウンテンズに起り南西に流れメキシコ領を經過しカリフォルニア灣に注ぐ、本流の大高臺を流過するや有名なる「カニオン」を形成し急壁の高、一千二百乃至二千一百米突に達せり。

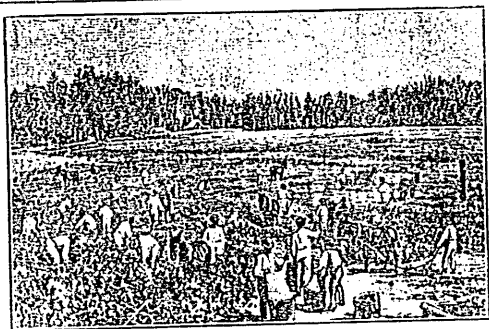
氣溫の年平均は五度より二十一度までの間にあり、北西地方は乾燥にして寒氣凜烈を極め、南部には健康に適せざる處あり、爽快の季節は九月より十一月までの秋季にして、氣候上最多の幸福を有するはカリフォルニア地方なるべし。

一千六百七十年イギリス人はバージニアのジェームスタウンに始めて殖民し、爾來新イギリス其の他の殖民地設立せられ領域は漸増大せしが一千七百七十六年に至りて十三州は獨立を宣言し、其の後購買合併、占取、獲得等に依りて漸次版圖の擴張を來たせり。

住民

人口は尙稀薄なれども毎年の來住者は頗る多く増加の度

生業



【ナリロカ爾】培養のタリ

極めて速なり、種族に就きては白人大多數を占めて黑人及雜種之に次ぎ、其の他にはインヂアン、支那人、日本人等あり、生地別にすればドイツ、アイルランド、大ブリテン、カナダは

其の主なるものなり、宗教はキリスト新教最盛にして、教育は進歩し女子教育には頗る見るべきものあり、大學はハバード、エール等を著名とす。

農業は規模宏大にして小麥、大麥、燕麥、玉蜀黍等の穀類を産すること夥しく、綿草は南部に、葡萄はカリフォルニアに多く栽培せらる、牧業は盛に牛、豚等を飼養し、林業も有力なり、而して鑛業

政治

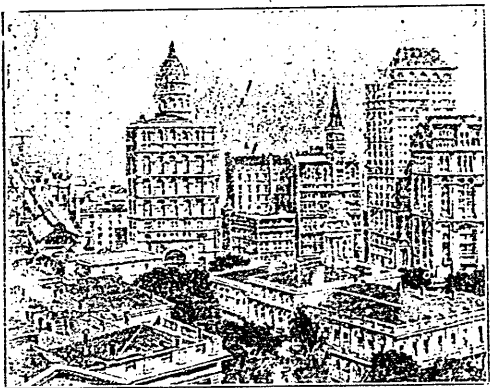
は大に金、銀、石炭、鐵、石油等を採掘し、各種の工業大に發達し、製鐵、紡織、屠獸、製粉等殊に見るべし、貿易は益隆盛に赴きて二十六億ドルを超え、取引はイギリス、ドイツ、フランス等と多く行はれ、實綿、肉類、穀類、銅、石油、器械等の輸出あり、交通の便亦益開け、商船の噸數はイギリスに次ぐのみならず、鐵道の延長は世界第一にして三十四萬軒の上に出て、太平洋岸より大西洋岸に達するもの數條あり、海底電線はヨーロッパにアジアに通ず。

政治上は一合衆區、四十六州、四領土(アラスカ、ハワイ等)より成る合衆共和國なり、任期四年の大統領は行政權を司り、立法權を有する議會は元老、代議の二院より成る、陸軍は強大ならざれども、海軍は世界屈指にて約四十二萬噸の軍艦

備はる。

ワシントンはポトマック河畔に位し、當國の首府たり、フィラ

ワシントン
フィラデル
フィア
ボーチモ
ニ
ク



【ワシントン】

デルフィアはデラウェア河に沿ひ人口約百四十萬を有する大都會にして大船自由に出入し、ボーチモと共に工業盛なり、大ニールヨークは合衆國第一、世界第二の大都會にて人口は三百七十萬に餘れり、港はバドソン河口にあり、廣潤安全にして船舶の礎繋に便を與ふること甚多く、商業并に工業は隆昌を極む、ボストンは商港として知らるるのみならず

ボストン

文藝の中心として聞ゆ、ボーツマスは日露講和條約の結ばれし處なり。

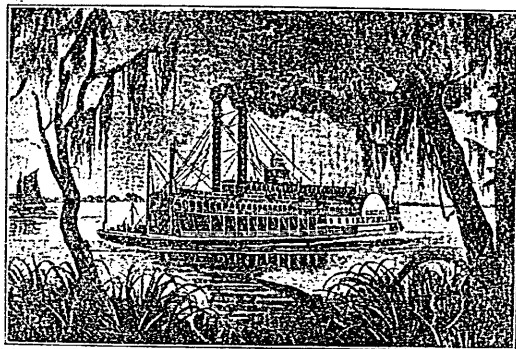
バフフロー及クリブランドはエリー湖岸にある要津たり、

デトロイトは同名の河に瀕し商港として名あり、ミルウオーキーはミシガン湖の西岸に建ち小麥、木材等の輸出あり、シカゴはミシガン湖の南西岸に沿ひ凡百九十萬の住民を有す、穀類、鹽豚の製造を以て最著はれ交通の要區なり。

セントルイスはミシシビの中流にありて商業活潑なり、シンシナチ

セントルイス

シカゴ



シシビ河

はオハイオ河に臨み鹽豚の市場なり、上流のピツバーグは製鐵業盛なり、ニッオリーンスはセントルイスの下流に位し綿花の大輸出港とす。

サンフランシスコは太平洋岸の大商港にして横濱を距る約四千八百哩、交通の要衝に當り、邦人の在留するもの多し、對岸にはオークランドあり、タコマ并にシアトルはピッジミットスンドに臨む商港とす。

アラスカは大陸の北西部を占めて北極洋と太平洋とに沿ひ、ベーリング海峡を隔ててシベリアと相對す、アラスカ半島の西にはアレウト列島あり、山岳はマッキンレー最著はれ、ユーコン河地方は砂金に富めり、魚類、海獸も亦豊富なり。殖民地はホルトリコ、フィリピン、等より成れり。

アラスカ

サンフランシスコ

土 地	面 積	人 口	土 地	面 積	人 口
ホルトリコ	九三、四〇〇	九三、三四三	サモア	一九九	四〇〇
フィリッピン	二九、三二〇	七三、五四六	其 他	四	—
グアム	五四	六七六	合 計	三〇、六四二	八六、三四五

● メキシコ

メキシコ(墨西哥)はアメリカ合衆國の南にありて、ユカタン半島の大部及テウアンテペク地峽を含み、面積は帝國の四倍餘に當れり。

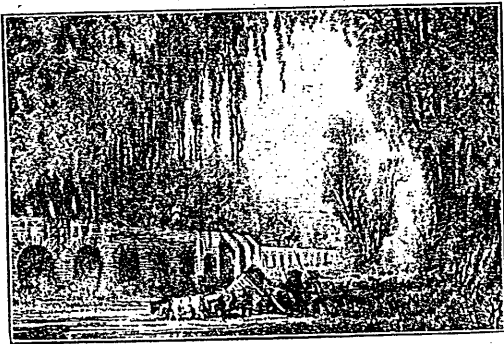
メキシコ灣に瀕する海岸には沙濱多けれども、西海岸は高隆にしてカリフォルニア半島は狹長なる一灣を抱く、水利に富める河流に乏しきも、火山にはボボカテペトル、オリザ

土地

住民

生業

政治



【近附市コシキメ】道水の(山經)クッパテルプアチ

パ、等の高峯あり、土地の要部は一の高臺地を形成し、海拔に依りて熱地、溫地、寒地の別あり、一年は二季に分かれ、夏季は降雨多く、冬季は乾燥なり。

人口は稀薄にして、雜種土人多きを占め、白人少なし、ローマ公教行はれ、イスパニア語廣く用ひらる、生業の第一は鑛業にして、貴金屬を産すること頗多く、農、牧、等も營まれ、銀、金、「ヘネカシ」、銅、「コヒー」、等の輸出あり、交通の便は大ならざれども、鐵道は地峽を横ぎり、また合衆國に通ず、メキシコは合衆共和制の下にあ

メキシコ

りて一區、二十七州、三領土より成れり。
 首府メキシコは海拔二千三百米突の高地にありて、テズ
 ク湖岸に近し、綿布、煙草を集散して市街繁華なり、グアダ
 ラハラ并にフエブラは工業地にてベラクルスはメキシコ
 灣の一港なり、コアツコアルコスはテウアンテペク鐵道の
 東端にあり、マンザニリ、アカプルコ、サリナクルスは太平洋
 岸にありて、孰れも交通の要地とす。

●中央アメリカ

中央アメリカは太平洋とアンチル海との間にある地峽
 部にして起伏多く火山少なからず、ニカラグア湖あり、氣候
 は高温多雨にして「コヒー」「バナナ」「マホガニー」等を産す、政
 治上七部に分かれ、一部はイギリス領なるもグアテマラ、サ

ルパドル、ボンデラス、ニカラグア、コスタリカ、パナマの六部
 は獨立して各共和國をなす。



【カリメア中央】蕉園のバナナ

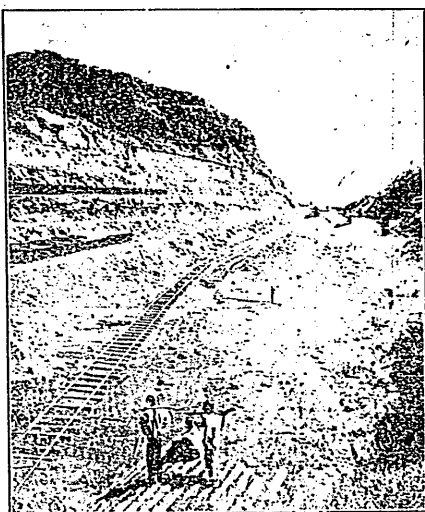
イギリス領はホンデラス灣に瀕する一地域
 にして首府をベリゼと云ふ。
 グアテマラは太平、大西の兩洋に臨み海拔の
 高き地にありて「コヒー」、皮、木材等の輸出あり、兩
 洋連絡鐵道は首府グアテマラを經過す。
 サルパドルは地域最、狭小なり、「コヒー」、金、銀、銅
 等の輸出あり、サンサルパドルを以て首府とす。
 ホンデラスは僅に太平洋に沿ひ「バナナ」、礦物
 等の輸出あり、兩洋連絡鐵道の設あり、首府をテ
 グシガルバと云ふ。

ニカラグアは六共和国中最、大く最、炎熱を感
 ずる處なり、輸出品に「コヒー」、木材、金、等あり、マナグアを以て首府とす。

コスタリカは「コヒー」、バナナを輸出す、鐵道は兩洋を連ね、首府をサンホセ

パナマ

と云ふ。



パナマ運河工事

る首府パナマと大西洋岸のコロンとの間に鐵道の便あり、「バナナ」、「コーヒー」等輸出せらる。

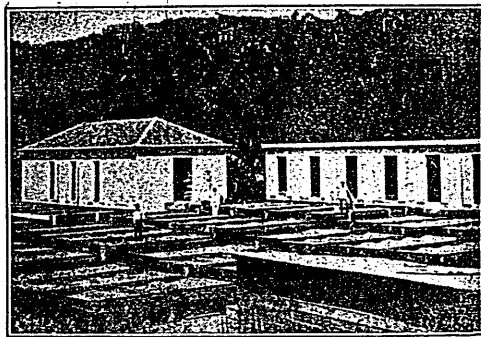
⑤ アンチル諸島

アンチル諸島は一に西、印度諸島と云ふ、大アンチル、小アンチル風下諸島、バハマの三部に分かれ、或は珊瑚性なるあり、或は火山質なるあり、甘蔗、「コーヒー」、「ココア」、煙草等を産す、住民の大多數は黒色人にして、キーバ、ハイチ、ドミンゴは獨立なるも、其の他は合衆國、イギリス、フランス、オランダ、デンマルクの間に分領せらる。

キーバ

キーバは大アンチル諸島中の最大なるものなり、島形狹長にして頗る港灣に富み、氣溫高く灌漑の利に乏しからず、地味肥沃にして、「コーヒー」、「バナナ」、「マホガニー」等を産するのみならず、甘蔗は生産の多きを以て著はれ、煙草は良質を以て鳴る、住民の大部は白人を占む、本島は舊イスパニヤ領なりしが近年合衆國領と成り、更に獨立の共和國と成りしも

のなり、首府ハバナは西印度第一の都會にして商業盛なり



【コリトルボ】島 乾燥のーヒーコ

ハイチは、キューバに次ぐ大島にして二小共和国をなす、西部のハイチはポルトープレンスを首府とし、東部のドミンゴはサントドミンゴを首府とす。

ポルトトリコは大アンチル諸島の東部に位して「コヒー」砂糖、煙草等の産あり、舊トイスパニアに屬せしが一八九八年以來合衆國の所領なり。

ジャマイカはイギリスに屬し、ラム酒を以て著はる。

バハマ諸島はイギリス領なりサンサルバドル島はコロンブスが始めて上陸せしグアナニ島なりと云ふ。

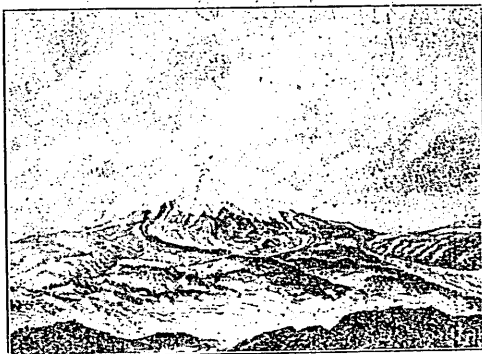
マルチニク島はフランスに屬し近年の噴火を以て名高し。トリニダード島はイギリス領なり、アスファルトの産出少なからず。

南あめりか

◎ コロンビア

コロンビア共和国は南アメリカの北西隅にありてアンデス山脈に據る、東部にはオリノコアマゾナ兩河の流域に屬する地あるも、要部はマグダレナ河の沿岸にありて水運の便少なからず、沿海の低處にありては暑氣強くして健康に適せざるも、土地の隆起するに従ひて溫地と成り冷地と成るを見るべし、土地廣くして人少なきも農業、鑛業は多少行はる、首府ボゴタは海拔二千六百餘米突の高地にあり。

◎ エクアドル



コパトシクエグアドル

米突の高地に位し氣候爽快なり、グアヤキルは太平洋斜面に於ける河港なり、ガラバゴス諸島は火山質にして約二千の火口あり大龜の産を以て著はる。

エクアドル。共和國は赤道の下にあり、アンデス山脈は南北に走りてチンボラソ、コトパクス等の峻峯聳え、沿海の地并に山脈の東部は炎熱を感じず、山地には金、銀を産し、アマゾン斜面には木材の無盡藏あり、人煙の稀少なるはコロンビアに似たり、コヨーアの産出あり、首府キトは海拔二千八百餘

ペルー

リマ



ペルーの海岸に於ける植物

ペルー(秘魯)共和國はエクアドルの南にありて太平洋に沿ひ、アンデス山脈は南北に走り、アマゾン河は此の國に發源す、沿岸地は乾燥に失するも、山岳地は氣候爽快なる谷地に乏しからず、森林地は高温多濕なり、人口の過半はインディアンにして住民は多からざれども、鑛業、製糖業、等を營み砂糖、鑛物等の輸出ありて、主にイギリスと取引せらる、交通は未便ならず、首府リマは

降雨甚稀なる地にありてカリフオと稱する附庸港を有す。

② ポリビア

ポリビア共和國は純然たる陸國なり、南西部にはアンデス山脈連亘してソラタ、イリマニ、等の高峯あり、アマゾン及バラナの流域に屬する地多く、チチカカ湖はペルー、ポリビアに分領せらる錫、ゴム、等の産あり、スクレを首府とす。

③ チレー

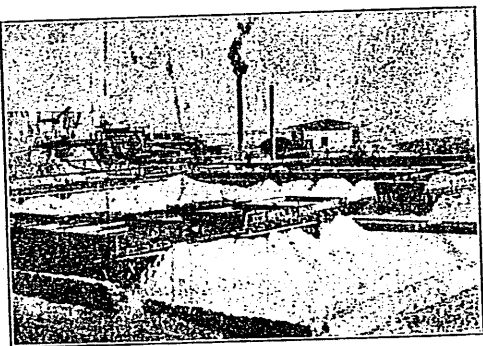
チレー(智利)共和國は太平洋を西にし、アンデス山脈を東にす、國土は狹長にして南北に亘り、其の面積は我が國の二倍に近し、北部は乾燥に失すれども地下には多量の鑛物あり、

土地

バラナ

住民

ゴサンチア



硝石の製造(レチ)

り、南部は濕潤に過ぐれども亦鑛物の蓄藏ありて漁産に富み、氣候佳良なる中部は最、農業に適す。人口は密ならざるも大多數はイスパニア種の白人なり、

主業は鑛農、等にして硝石の外、銅、小麦、沃度を輸出しイギリス等と取引せらる、交通の便稍多し。

首府サンチアゴは寒暑の差稍甚しく、バルバライソは當國第一の商港たり。

④ ベネズエラ

ベネズエラ共和國は南アメリカ

あめりか洲

ポリビア

チレー

ベネズエラ

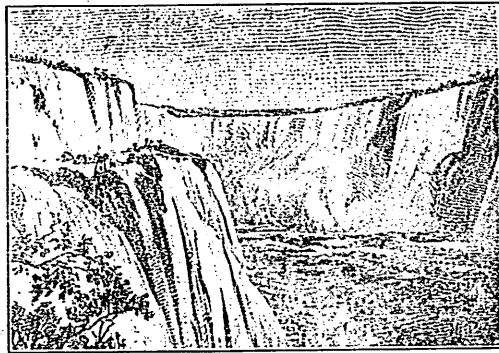
の北部にありて概オリノコの流域に屬す、沿海地は「ユマヤ」、甘蔗「ニヒー」を産し、リアノスは牧業に適す、森林は未利用するに至らず、首府をカラカスと云ふ。

㊦ グイヤナ

グイヤナは南アメリカの北東隅を占め大西洋に瀕す、土地は概森林にて蔽はれ、高地の住者中には土を啖ふの奇風ありと云ふ、政治上イギリス、オランダ、フランスの三國に分領せらる。

㊦ ブラジル

ブラジル(伯刺西爾)合衆國は二十州、一區、一領土より成り、南アメリカの最大國にして我が國の約二十倍に當れり。海岸には著大なる灣入なく、南部にはブラジル山脈、北部



〔河ナラバ〕布瀑アリトクビ

にはバリマ山脈等あれども、其の他は低地多きを占め、マデイラ、其の他多くの支流を受くるアマゾナを始とし、サンフランシスコ、巴拉ナ、パラグアイ等の諸流ありて頗る水脈に富めり。

沿海の地并にアマゾナの平野にありては暑氣濕氣孰も烈しく健康に適せずして高處は稍趣きを異にせるが、氣候は一般に熱帶的にして乾濕の二季に分かる。

土地は極めて豊饒にして「セルバス」は殊に樹木に富みて「カウチク」并に染料を與へ、「カンゴス」は主として百草の茂生

生業



〔方地ナゾマア〕スバルセ

する處なるも亦特種の樹木を見、南部には耕種に適する地多し、また地下には金、鐵、寶玉、等を藏有せり。土地廣大なれども住民多からず、人口の約三分の一はイタリア人、ポルトガル人、等の白色人にて殘餘は雜種、黑人、土人、等より成り、ポルトガル語廣く行はる。

農業は當地の主業にして、「コヒー」の産は世界に比なく、甘蔗、綿、「コヨー」等も亦多し、而して貿易は合衆國、イギリス、等と行はれ、「コヒー」、「カウチク」、皮革、等の輸出あり、交通の便は、未だ大ならず。

リオデジ
アネイロ

リオデジアネイロは當合衆國の首府にて良港に瀕し船舶の出入繁く商業甚盛なり、バイア井にベルナンブゴも亦商港として知らる、サンパウロは南部にありて國內第二の都會たり、「コヒー」の取引多し。

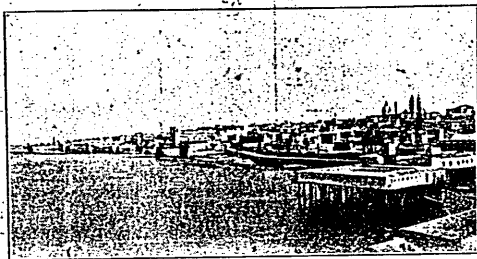
⑤ バラグアイ

バラグアイ共和國は海洋に接せず、バラグアイ河は國土を二分す域内平低の地多く、「マテ」の栽培行はる、住民は概しイスパニア人の子孫にして首府をアスンシオンと稱す。

⑥ ウルグアイ

ウルグアイ共和國は南アメリカの最小國にして我が國

モ
ン
テ
ビ
デ
オ



モントビデオ

の三分一強に過ぎざるも、氣候佳良にして土地は農牧に適し、住民の増殖速にして來住者中にはイタリア人、イスパニア人等多し、首府モンテビデオはラプラタに瀕して盛に畜産を輸出す。

● アルヘンチナ

アルヘンチナ(亞爾然丁)共和國は南アメリカの南部を占め、東は大西洋に臨み、西はアンデス山脈に據り、フエゴ島の東半を含みて我が國の約六倍に當る面積を有す。

海岸は緩なる屈曲を呈し、グランチャコには寂寥たる深藪叢多し、中央平

住民



パタゴニア

野は乾燥に失するが、肥沃の地、含鹽の土を抱括し、パンパスは廣漠たる草原に際限なきを疑はしめ、パタゴニアは砂礫と壤土と相半せる臺地なり、而して西部の高地には廣濶なる平野、肥沃なる谷地の存するありて億萬の人口を養はんと待つものの如し、またパラナ河は多量の水を大西洋に注ぎて一大航河をなせり。

人口は未だ稀薄なるを免れざれども來住者の數少なからず、種族は白人多く主としてイスパニア人の子孫なり、

又、パタゴニア人は身長の長大なるを以て知らる。

農業の發達速にして小麥、亞麻、甘蔗等の栽培あり、牧業は盛に行はれ牛、馬、綿羊甚多く砂糖、葡萄酒等の製造も漸進歩

生業

政治

ブエノス
アイレス

す。貿易も亦次第に發達しつつありて、主にイギリス、ドイツ、フランス、合衆國と取引せられ、小麥、羊毛、玉蜀黍、皮革、肉類、亞麻仁等の輸出あり、鐵道は約二萬軒に達せり。
當國は一都、十四州、十領土より成れる合衆共和國なり、兵備は強大ならざれども海軍は南アメリカ第一とす。
首府ブエノスアイレスはラプラタに沿ひ鐵道の集合點にして商業繁昌し、工業も稍盛なれば南アメリカ第一の都會と成り、人口は百萬以上に達したり、巴拉ナ河畔のロサリオも商業地なり。

●フォークランド

フォークランドはマガリネス海峡の東にある群島にてイギリスに屬せり。

汎論

●住民

人口 人類の總數は約十六億と概算せられ、其の過半はアジアに、約四分の一はヨーロッパに住みて、殘餘は他の三大洲に居る、而して生産が死亡に優れるが爲、人口は概して増殖するの傾向を呈するも、地方に依りて自、遲速あるを免れざるのみならず、中には漸減少して遂に絶滅せんとするものなきにしもあらず、また人類の各地に對する分布は一様ならずして、人口の密度は一方軒に就き二百人以上なるあり或は十人以下に止まるあり、五大洲中ヨーロッパは一方軒に就き四十人を以て最稠密にして、アジアの十九人に次ぐ

はアフリカ、アメリカにしてオセアニアは最、稀薄なり。
言語 言語は吾人獨得の能技にして人類と禽獸との別
をして明確ならしむるものの一なり、太古より現時に至る
間に幾多の變遷を経て各地特殊の通語を生じたれば、其の
主要なるものを擧ぐるも二百五十種以上ありと云ふ、然れ
ども語源、語脈を考査するときは單音、連綴、變働の三大派に
分つを得るが如し。

單音語	支那語	アンナム語	カンボヂヤ語
	バルマ語	シム語	西藏語
連綴語	ドラビダ語	ツラニア語	オーストラリア語
	アルタイ語	バスク語	アメリカ語
變動語	アフリカ語	マライ語	
	セム派	ギリシア—ラテン群	

イノド—ヨーロッパ派
スラブ群
ゲルマニア群
ケルト群
コイカシア群

宗教 世界の各處に住する人民は宗教的思想を有せざるもの殆どなく、自然教に起り偶像教と成り漸次進化して多神教を経、一神教に達すと云ふ、現今世界に行はるる宗教には未開の地に信奉せらるる拜物宗、精靈宗等の外に印度教、佛教、ユダヤ教、キリスト教、マホメット教等あり。

佛教は凡そ二千五百年前印度に起れり、バラモン教に一大改革を加へしものにして教祖を釋迦牟尼と云ふ、今日に於ては分派頗る多く往古の盛大を見るも尙、アジアの東部、南東部等に行はれ、主として黃色人種の信仰する所なり。

印度教即ち新バラモン教は佛教を加味して往古のバラモン教を改造せしものなり、印度半島の住民多くは之を信奉す、信者の數は二億一千万と算せ

印度教

佛教

猶太教

基督教

回教

らる。



ローマの公教院

ユダヤ(猶太)教はユダヤ人の宗教にして三千七百餘年間に多くの變遷を経たるが僅々一千一百萬の信徒は各地に散在す。

キリスト(基督教)はキリストの唱導に係れり、アジアの西端に起りてヨーロッパに傳はり、昔時は偉大の勢力ありしが爾來異説を生じ、爲に四分五裂せり、本教を分ちてローマ公教(二六四)キリシヤ正教(一〇)新教(一八五)の三とす、信者は合はせて五億五千九百萬に達し、廣く世界に亘れり。

マホメット教は本名をイスラム教と云ふ、マホメットの創めし教にして四大派に分かれ、アジアの西部、南東部、アフ

人種派群別

人種	黒色			
	アフリカ	ヨーロッパ	オーストラリア	ラトビア
派	ニグリチア パンツ ネグリロ	ネグロ ホッテン トット	 ボツシ マン	ネグ リト
群	東方 中央 西方 ギネア	西 東 南		北 南

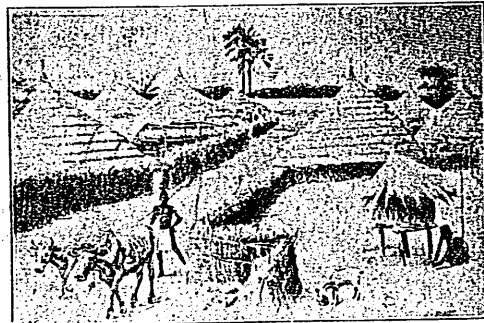
リカの北部、中部等に一億八千七百萬の信徒を有す。
人種 人類は動物界に於て優秀なる地位を占むるものなり、相貌の差異、文化の程度、等外觀的、解剖的、又は智力的、信仰的、等種々の方面より觀察して、人類を黒色、黃色、白色の三人種、マライ、アメリカの二亞種に大別し、各人種を派、群、種族等に細別せり。

黒色人種

白色		黄色		アリ オーストラリア
ハム セム	アフリカ	フィン	支那 北方	蒙古 支那 日本 アメリカ シベリア
アラビア シリア ペルベリア エチオピア	ヒンド イラン ギリシア ラテン チャートン スラブ ケルト	バルトフィン ラップ ボルガフィン ベルミア ウグリア	蒙古 トルコ ツングーズ 日韓 漢 西藏 印度支那	

黒色人種(一億六千萬人)はアフリカ人種とも呼ばれ、アフリカを主としてオセアニア、アメリカ等に住す。皮膚は一般に黒色を呈し、鼻は低く顎骨突出

黄色人種



〔ルザガルエルーバ〕落村

し唇厚きを常とす、頭髮はアフリカに於けるものにありては捲縮し、オセアニアに於けるものは直毛又は叢毛なり、本種の主要部九千萬をなせるニグリチア派はアフリカの中央部を占む。またボッシマジは人類中身長最も短し。

黄色人種(五億八千萬人)は、一に蒙古人種と稱せられ、世界總人口の三割強に當ると云ふ、居住區域はアジアを主とすれども亦ヨーロッパに侵入し、尙ほ他の人種と混じてはオセアニア並にアメリカに亘れり、體軀は大ならず、皮膚は概淡褐色にして黄色を帯び、顔は卵形にして幅廣く、頬骨秀て鼻高からず、口稍大にして唇薄からず、髪は長くして黒く、断面は圓形なり、本種は四派に分かれ、支那派は文化上最優等の地位にあるのみならず、數五億に於ても殆ど本種の全部を占め、分かれて日韓、漢、西藏、印度支那の四群と成る。

白色人種



キルギス種族の婦女

白色人種(八億五千萬人)は一にコーカシア人種と云ひ、人類の過半を占む、皮膚概白色なるも褐色、黒色、等を帯ぶるものあり、顔面卵形にして額廣く、眼大く鼻狭く唇薄く、髪は長くして縮れ、卵形の切斷面を呈す、毛色は赤栗、褐等ありて鬚頗多し、住域は五大洲に及び就中本種の大部を占むるアフリカ、派八億はヒンドラテン、チベット、スラジ等の數群を抱括す而して此の中には文化大に進み強大なる國土を支持するものあり。

マライ亞種
白人種又は褐色人種と稱せられ、五人種の一に數へられしが、人種學進歩の結果黒黃白三人種の混淆より成るものと認められたり、マライ半島、マライ群島并にポリネシア等に住す。

アメリカ種



インディアン種族の男女

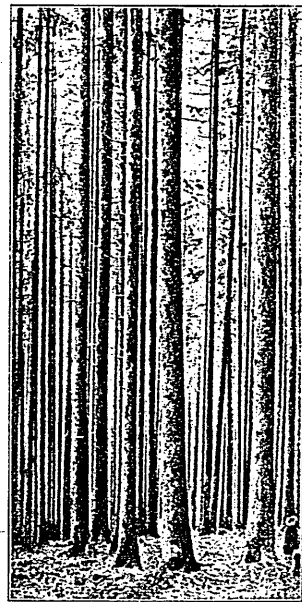
アメリカ種はアメリカ人種又は赤色人種と稱へられしが、黃白二種の混淆を本とし之に多少の黒色種を加味したるものなるに過ぎず、住域はアメリカにして南アメリカのバタゴニア人は最長の身幹を有す。

◎ 生業

吾人が營む所の生業は實に多趣なり、然れども之を括約せば原料的、加工的、配分的の三と成り、之を細別せば森林、狩獵、養畜、農業、鑛業、水産、工業、商業、交通等を得べしと雖、要するに動植鑛の如き天產物に直接若しくは間接に勞力を加へ

森林

有無の交換を圖りて人類の需要を充たすにあり。



林工人の樹樞

森林・森林業とは有用なる樹木を伐採して其の効果を收むるにあり、森林は其の存在する場處に依りて山林或は平林と稱せられ、樹木の生育に由りて天然林と人工林との二種に區別せらる、天然林の大なるものは南アメリカにありて人工林はドイツに發達せり、而して森林には建築

積面林森				
アジア	アフリカ	北アメリカ	南アメリカ	ヨーロッパ
一三〇〇	九〇〇	九〇〇	八〇〇	三〇〇
萬方尺				
一三〇				

獵産



【アリバシ】ナミルエ

土木、工業等に供せらるる木竹材を始とし、燃料、染料、食料、薬品を與ふるが如き直接の効用あるのみならず、氣候、配水衛生、風景等に大なる關係を有す、木材として多く用ひらるるは松、樅、檜、「チーク」、「マホガニー」等なり。
狩獵 狩獵業は虎、豹、象、犀、熊、狼、猪、鹿、狐、兔、獺、貂、其の他の毛皮獸并に雉、鴨、鵝、雁、鴨、駝鳥の如き野生の禽獸を捕獲して角、牙、皮、毛、羽、肉、脂等を收得するを目的とするが、濫獲の結果各地共に漸次悲況に向ふものの如し、然れども狩獵は常に生業の一として存在すべきものなるのみならず、娛樂として高尚勇

壯なる快味を有するものなれば、適宜の保護法を設けて動物の繁殖を謀らざるべからず。

主要狩獵地

シベリア カナダ ヨンゴン スタン
オーストラリア アルヘンチナ ブラジル



ヤギ、山羊 [Capra hircus] メンヤガ綿羊 [Ovis aries]

養畜
養畜業とは家畜家禽、家蟲等を養ふ事を總稱せしものなり、而し

家畜

家禽、養蟲

て本業に由りて得たる産物は或は食料肉、乳脂等と成り或は工業に用ひられ種類によりては勞役に服せしめ又は愛翫に供し得べし、今家畜の主要なるものを記せば犬、猫を始とし家兔、豚、馬、驢、牛、水牛、犂牛、駱駝、羊、牦羊、山羊、馴鹿等あり。家禽に家鶏、七面鳥、鴛鴦、孔雀、家鴿、鴿鳥等あり。養蟲は家蠶を第一とし天蠶、柞蠶、蜜峰之に次ぎ蠟蟲「コチニール」等亦其名を知らる。

馬 九〇〇〇〇頭

ヨーロッパロシア(三三九) 合衆國(一九九)

アルヘンチナ(四九三) ドイツ(四二〇) フランス(三六八)

牛 四、〇〇〇〇

イギリス領印度(八七九) 合衆國(六四三) ヨーロッパロシア(五九三)

アルヘンチナ(三七〇) ドイツ(八九四) フランス(四六七)

オーストラリア(九二〇九) アルヘンチナ(七四六)

綿羊五、六〇〇〇

合衆國(六〇四) ヨーロッパロシア(五二九) イギリス(三〇八三)

フランス(二九七) ウルグアイ(八六二) イギリス領印度(二六五)

豚 一、六〇〇〇
 〔合衆國四六五〕 ドイツ(六二) ヨーロッパ(二三三)
 ホンガリア(七三) フランス(六六) オーストリア(四六)
 蘭 一〇〇〇〔清國 日本 西部アジア 南部ヨーロッパ〕



耕地面積(萬方)	
アジア	九〇〇
オセアニア	一〇〇
ヨーロッパ	四四〇
アフリカ	五三〇
北アメリカ	三五〇
南アメリカ	三八〇

農業 農業は土地に耕耘を施し
 各種の植物を栽培して食料、飲料、薬
 料、香料又は養畜、工業、觀賞等の用に
 供するにあり。
 食料用には
 米、小麥、大麥、ラ
 イ麥、燕麥、玉蜀
 黍等の穀類を
 始とし豆類、馬

食料用

鈴薯、甘薯、大薯、マニホット、パンノキ、ココヤシ、ナツメヤシ
 等あり、米は南と東とのアジアに多く生じ、小麥はヨーロッパ
 北アメリカ等を以て主産地とす。

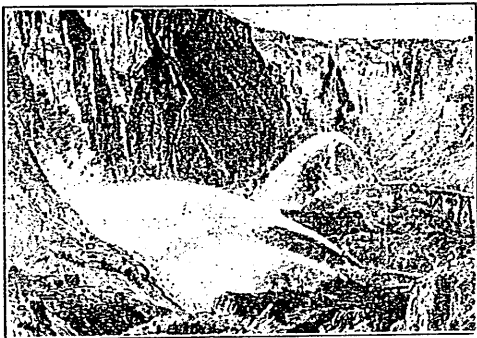
種類	栽培地	收穫高	主産地
米	六〇	九〇〇	清國 印度支那 印度 日本
小麥	八〇	八二三	合衆國(七五) ロシア(四四) フランス(九二)
大麥	二五	二六四	ロシア(七〇) ドイツ(三〇) 合衆國(三〇)
ライ麥	四〇	三八四	ロシア(三〇) ドイツ(六〇) オーストリア(二〇)
燕麥	五〇	五一〇	合衆國(三五) ロシア(三〇) ドイツ(七三)
玉蜀黍	六〇	七二〇	合衆國(五〇) ホンガリア(四三)

工業用

工業用も亦種類少なからずして纖維(木綿、大麻、亞麻、苧麻、
 黃麻、アバカ、ヘネケン、ホルミアム、アルファ等)を與ふるも

のあり、染料、油料、等に使せらるるものあり。

綿花 三三〇〇百五十 合衆國三四五 東印度四九五
清國二六四 エジプト二二二



黄金の採取

鑛業 鑛業とは地中に埋没せる金、銀を始めとし、其の他、人生に有用なる諸鑛物を採掘し、之に適宜の人工を加へて精煉をなすを云ひ、採鑛と冶金との二者を含む。

鑛産に金屬と非金屬とあり而して金屬には白金、金、銀等の貴金屬あり、鐵、銅、錫、鉛、亜鉛、ニッケル、水銀等の實用金屬あり。

金屬

鑛種	總産額	主産地
白金	七〇〇〇 担	ロシア(六三三) 合衆國(三) トランスバール(三)
金	五二 八	オーストラリア(二) ロシア(三、五) 合衆國(七) メキシコ(五九) オーストラリア(四五)
銀	四九〇	合衆國(六七) ドイツ(五五五) イギリス(四五九) イスパニア(四〇六) ロシア(三九七) スウェーデン(三五三) 合衆國(六六) メキシコ(七七) イスパニア(六〇) マライ保護國(五二) ボリビア(二八)
銅	七〇	合衆國(三六) オーストラリア(二九) イスパニア(五)
錫	一〇	ドイツ(一九) 合衆國(七)
鉛	六三	合衆國(三六) オーストラリア(二九) イスパニア(五)
亜鉛	八三 五	合衆國及カナダ(四七) 新カレドニア(三六〇)
「ニッケル」	三九 二〇	イスパニア(二六〇) 合衆國(一九〇)
水銀	三九 二〇	イスパニア(二六〇) 合衆國(一九〇)

非金屬

非金屬中最要なるものは燃料たる石炭、石油の二なり。

礦種	總產額	主産地
石炭	八八、五〇〇 萬噸	合衆國(三、五八二) イギリス(三、三六二) ドイツ(二、九三三) フランス(三、四七七) ベルギー(二、二五〇) ロシア(一、六九五)
石油	二七、九	合衆國(ペンシルバニア、ニッソー、ヨーク等)(四、八六六) ロシア(コーカシア)(二、〇〇五) オランダ領東印度(九、四四)

各種の寶玉、貴石中にて最、貴重視せらるるは金剛石にして、石材は各種の岩石より採取せられ、硫黃、石墨、岩鹽、グァノ等も少なからざる効益を與ふ。

水産 水産業は鹹水と淡水とを問はず、動植礦各種の産物を捕獲採取又は養收して、之に適當の製作を加へ以て食

漁獲

料を始め、其の他の需用に供するにあり。

漁業は河湖に行はるるものと近海又は遠海に於て施さ

るものとの三種あり、ヨーロッパ

北アメリカ等にありては數千里

の波濤を破りて遠く北洋近傍に

勇進し、海獸、魚類を捕獲すること

盛に行はれ、カナダ地方にては鮭

鱒、鱈、鯨、鰮、蝦等巨額の收利を得る

と云ふ、漁獲物には生食せらるる

ものあれども鹽製、乾製、燻製等を

施し食料又は肥料、工業用等に供

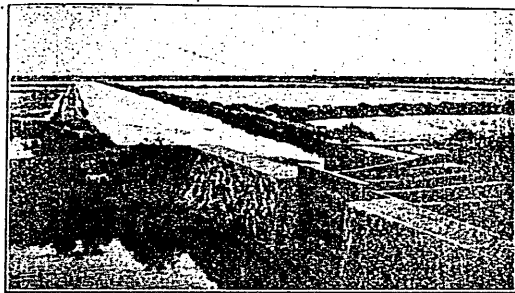


〔岸東のアトラス-オ〕取探の湖 珊

せらる。

養殖

製鹽



鹽田(アラブの南端)

得せらるるものなり

食鹽

一三八一

合衆國

イギリス

フランス

ドイツ

日本

印度

支那

朝鮮

暹羅

爪哇

南洋羣島

その他

水産物の需用漸増加し漁獲の方法精密と成るや、生産は消費を償ふに違あらずして勢、有用の魚介は減少せざるを得ず、されば人工的に其の養殖を計りて供給を充分ならしむる必要を生ずるものなり而して養收物には鰻、サลม、鮭、鱈、鯉、牡蠣、真珠介、等あり。

製鹽は食料、工業等に必要なる食鹽を採收するにあり、食鹽は海水より得らるる外、鹽湖、鹽泉、鹽山、鹽坑等より取

工業

工業は廉價の原料を採り之に勞力を加へて高價の製作品となすものにして人工を利用する點に於て頗る利



工業地(アラブの南端)

益多し、本業には吾人の力を直接に使用する手工あれども、水力、風力、汽力、電力等を原動力とする器械工業を以て遙に優勢なるものとす、而して工業國の首位はイギリス之を占め、合衆國、ドイツ、フランス、等之に次ぐ。

本業は實に多趣なり、然れども之を大別して化學、食料、被服、器具、各種

化學工業

特殊の六類と爲すを得。

化學工業には工業用又は醫療用の藥品、酒精、染料、芳香料、油類、蠟類、皮革、紙類、石鹼、石灰、「セメント」、人造肥料、瓦斯等の産あり。

食料工業

食料工業は茶類、砂糖、酒類、麵類、菓子、醬料、「バター」、「チーズ」等を製出す。

被服工業

被服工業は絲類、織物、染物、氈類、編物又は衣服、帽子、靴類、袋物、手巾等と與ふ。

器具工業

器具工業は家具、刃物、針類、釦鈕、食器、燈具等を作り、鑄物、鐵器、青銅器、錫器、金銀器、陶磁器、玻璃器、七寶器、塗物、竹器、牙器、骨器等を出だす。

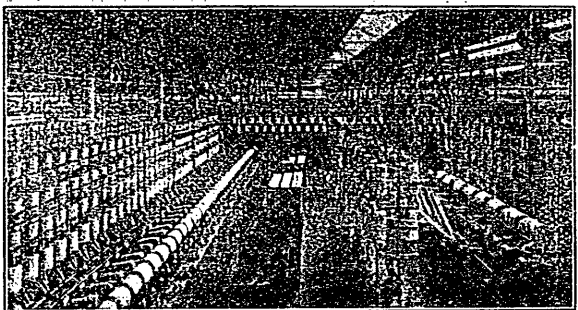
各種工業

各種工業に筆、墨、「ペン」、「インキ」、書籍、又は扇子、提燈、香水、香

特殊工業

油、化粧品等の製出あり。

貿易



毛絲の製造

特殊工業に兵器、車輛、船舶、鐵道用具、器械等の製作あり。

商業 商業は需要供給の間に立ちて百貨の有無を交換し、自他の利便を増進せんことを務むるにあり、而して取引の範圍に廣狹ありて内國商業と外國商業即貿易との別を生じ、集散の程度に繁簡ありて市場に特殊況の現出するを觀る。世界各國の貿易は輸出入合はせて五百五十億圓に近く、其の過半は



【ドッロゴアノニジニ】場市期定

ヨーロッパ諸國の手に依りて行はると云ふ。

貿易高

ヨーロッパ(三三三) アメリカ(九四九)
アジア(五六七) アフリカ(三三三)
オセアニア(二七三)

世界の主なる貿易國はイギリス、ドイツ、合衆國、フランス、オランダ、ベルギー等にして、殊にイギリスの貿易高は無比の多額を示せり、然れども人口と輸出高との割合を求めば

オランダ、ベルギー、スウイス、等に劣れり。

主要貿易國一覽表

國名	輸入	輸出	合計	輸出一人割
イギリス	五、八三五	七、五七三	八、八四九	八、六〇〇

ドイツ	三九、三三七	三〇、六五〇	六九、八七七	五、〇五〇
アメリカ合衆國	二七、五二七	六、九三七	六四、四四四	四、四〇〇
フランス	二〇、九一七	二〇、七四七	四一、〇九四	五、一三七
オランダ	二二、五三〇	一六、六一六	三八、一四六	二、九七〇
ベルギー	二二、七三三	九、三三四	二二、〇六六	二、三〇元
オーストリア	九、三七四	九、六七一	一九、〇四二	二、二二
ロシア	六、一四〇	一、四六〇	一七、一八〇	八、五五
イタリア	九、六六三	七、四三四	一七、〇〇六	二、一七
清國	六、七三二	三、四二六	一〇、一五九	八、三
スウイス	五、四九〇	四、三三九	九、八三三	一、三三七
日本	三、四三六	五、〇〇〇	八、四三六	六、八五
イスパニア	三、五九三	四、〇七五	七、六二七	二、一六七
デンマーク	三、四八四	二、九六二	六、四四五	一、三三七
スウェーデン	三、三三八	二、五〇二	五、七三九	四、七三五
ノルウェー	一、七四六	一、二〇八	二、九五四	五、四〇四

ポルトガル

一、三四六

五、四六

一、九四六

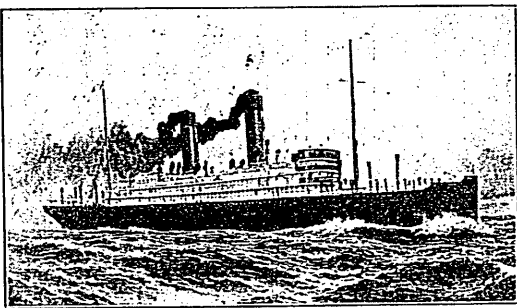
二、九二

各地の貿易品を觀察するに、文化の度高く百貨の生産に豊富なる國は原料を輸入して製品を輸出し、未開の國は天産の饒多なるに拘らず製品の供給を他國に仰がざるべからず、中位にある國は輸出入共に原料若しくは製品の一に偏せざるを常とす、されば貿易上の情態如何を觀察せば又國勢の一斑を知るに足るべし。

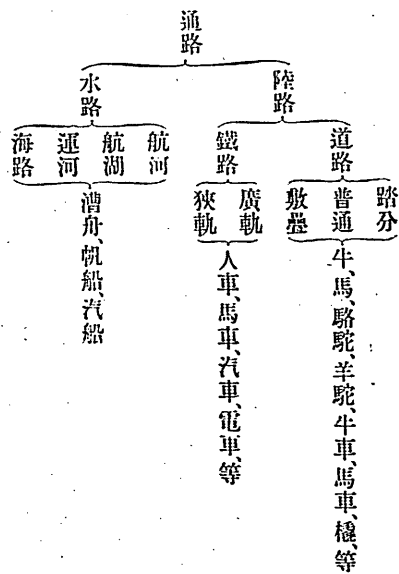
通路

交通 交通業とは旅客の往復、信書の發着、百貨の運搬等の目的を達せしむる業を云ふ、此の目的を遂ぐる機關の主なるものは通路にして自然的あり人工的あり水路あり陸路あり、往昔は自然的陸路又は河流沿海に據るを主とし、人

交通機關



東洋第一の巨船 天洋丸
（東洋汽船會社所有）



而して、商船の噸數はイギリスに及

ぶものなく、鐵道の延長は合衆國を以て第一とす、また大洋横斷電線は大西洋に十數條あれども、太平洋には二條あるに過ぎざるも、陸上に於けるもの并に電話等と相俟ちて通信の便益多からんとす。

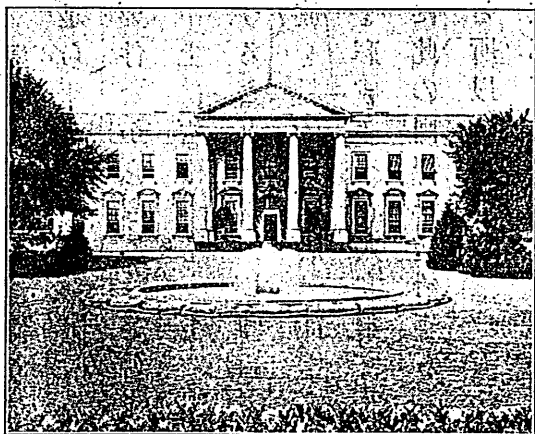
地 方	商 船	鐵 道	國 名	商 船	國 名	鐵 道
ヨーロッパ	二〇三萬	三、五	イギリス	二、三三萬	合衆國	三、四一萬
アメリカ	七三	四、五	本 國	一〇七	ロシア	六、三
アジア	二、五五	九、〇	殖民地	一、五九	ドイツ	五、七
アフリカ	五	二、九	合衆國	六、四五	フランス	四、六
オーストラリア	四三	二、七	ドイツ	二、五	オーストリア	四、一
計	三二七	六、八	ノルウェー	一、四八	イギリス	三、六

政治

國

國家 茲に土地ありて人類蕃殖するも未だ一國を成すに足らず、一國の名を與ふるには土地と住民との外更に他の要件なからざるべからず、一地方に棲息する人類の一團體中上に主權者あり下に被治者ありて然る後始めて國と稱することを得べし、抑一家には主人なるものありて其の家族を統治し、家族は能く主人の命令に服従し則ち圓滿なる一家を形成すべし、人家集まりて一の部落を作るに當りては更に此の團體を統治するものなかるべからず、是れ部落に長ある所以にして、國家の未だ發達せざる昔時草昧の世にありては部落は各地に割據し酋長之を統治して其の主權を握りしなり、然るに星霜を経るに従ひ漸く進化するや、多數の部落相集まりて大團體を組成し、優秀なる人傑を主權者に戴き

て其の統治を仰ぎ、被治者も能、其の命令に服従し互に權域を謹むに及びて、昌平安泰の邦家と稱するを得るものなり。



ワシントン・ホワイトハウス

政體 邦家の主權者にして法令を出だすに當り唯自己の意見にて專斷するあり或は一定の規約即憲法に準據し其の範圍内に於て統治の實を擧ぐるあり、主權者の世襲なる國は之を君主國と稱し、其の君主を帝王、公、侯等と唱へ、主權者が被治者の選舉に出づる國は之を共和國

と稱し、其の統治者を大統領と云ふ、また一國にして一の主權者を戴くものを統一國と稱し、二國以上にして同一の主權者の下にあるものを聯合國、聯邦若しくは合衆國とす。

共和國		君主國	
統一		憲政	
合衆		專政	
ブラジル	アメリカ合衆國	清國	日本
アルヘンチナ	メキシコ	アフガニスタン	イタリヤ
スウイス	ベネズエラ	モロッコ	イスパニア
		エチオピア	ベルギー
		オマーン	オランダ
			ロシア
			デンマルク
			ノルウェー
			スウェーデン
			ポルトガル
			セルビア
			モンテネグロ
			ペルシア
			大ブリテン
			アイルランド
			オーストリア
			ハンガリー
			ドイツ
			フランス
			チレ
			ペルー
			エクアドル
			コロンビア
			ボリビア
			パラグアイ
			ウルグアイ
			パナマ
			コスタリカ
			ニカラグア
			サルバドル
			ホンデュラス
			グアテマラ
			キューバ
			ハイチ
			ドミニゴ
			リベリア

兵備 内亂を鎮め、外寇を防ぎて、邦國の安寧を維持し、權威を宣揚せんには、主として兵備に力を用ひざるべからず、是諸國が軍備の擴張に汲々たる所以なり、現今陸軍の兵數はロシアを以て第一とし、兵艦の噸數はイギリスに及ぶものなく、我が陸海軍は精銳を以て著はる。

陸		海	
國	名	國	名
平時	戰時	隻數	噸數
ドイツ	六八八	イギリス	四八八
フランス	五〇五	フランス	五〇〇
ロシア	三六二	ロシア	三七七
イタリヤ	三三三	ドイツ	二二五
オーストリア	一八七	合衆國	一五五
IIホンガリア	一二三	日本	一二三
イギリス	一五〇	イタリヤ	二九九
日本			四三

財政比較表

財政 方今列強は、競ひて内治、外交に力を盡し、殊に軍備の擴張を圖るを以て歳出は漸次増加の傾向あり、從て之に伴ふ歳入も亦其の額頗る多く、一人割はフランス、ベルギー、等にては三十圓を超ゆるに至りしに我が日本にては今尙九圓餘に過ぎず、而して負擔の輕重は國民の富力に關するは勿論なれども亦徵税法、納稅者の慣習等に基づくもの尠少なからざるべし。

國	名	歳出	歳入	歳入一人割	國	債
ロシア		三、八〇二	二、九七〇	三、〇〇〇		八、四四三
フランス		一、四八六	一、四八三	三七六		一、三三〇
イギリス		一、四、五二	一、四、九七	三、〇〇〇		六、八九〇
ドイツ		一、九六三	一、九七六	一九七		一、六六七
合衆國		一、八三七	一、三六六	一、四七四		四、六三九

イタリヤ	九、九七九	九、八五九	二、九二〇	四、九八二
オーストリア	八、九七九	八、九三七	三、四一三	一、六八〇
ホンガリア	四、九七九	四、四〇七	三、〇八	三、六四三
日本	四、九七九	四、九七九	九、八九	一、八五三
ベルギー	二、七五三	二、六八五	二、七五三	一、三八七
オランダ	一、四二八	一、四七九	二、六〇八	九、四九七
スウイス	四、六六	五、七三	一、四九〇	四、〇二

●殖民

殖民とは或國の住民が本國以外の地に於て殖産の利を收め、移民の益を得るを以て目的とする事業を云ふ、されば殖民地に就きては殖産的あり、移民的あり、殖産と移民とを兼ねるあり、而して本業を企圖するは本國の地理的位置に

ポルトガル人

關するは勿論、其の住民に特殊の性質技能等を要するは明なれども、移住者の饒多なると資力に豊富なるとは大に與りて力あるものと知るべし、且また殖民地は本國の助力干涉に始まり、漸次に發達して自治獨立に終るを常とす。茲に殖民事業に關する現時の情態を略記するに當り、最舊より最新に及ぼさんとす。

ポルトガル人はヨーロッパの西端に於ける狹隘の地に國を建つるが故に、陸上に事をなすの難きと海上に利を得るの易きとを先覺して立ち、以て商業的殖民地を各處に設け一時は盛大を致せしも、本國の微力なると競争國の優勢なるとに因りて漸、衰退を來たし、遂に印度、ブラジル等を失ひしが、今尙二百餘萬方秆の地域と七百餘萬の住民を有す。

イスパニア人

イスパニア人はポルトガル人に倣ひ商利を得るを目的として立ち、領土の擴張と宗教の傳播とを兼ね、一時は老大の殖民地を保有するに至りしも、施政上に過失多く經濟の原則に戻りたるが爲、各殖民地の離叛を來たしたれば、現時は僅に二十餘萬方紵の地を餘すのみ。

オランダ人

オランダ人は特有の性質、技能に基づき巧に海上に驅逐して殖産的土地を領し、以て前記の二種族に劣らざる事業をなし、一時は旺盛を極めしが、有力なる競争者の出現するに逢ひて、勢退步せざるを得ざるの悲運に陥りしも、今尙三百餘萬方紵の土地と三千八百萬足らずの住民とを以て優に殖民國の一たるの實を有す。

フランス人

フランス人は本國の富力と兵力とに據りて各方面に向

イギリス人

ひて有望の地を擴張せしも、虛名に走りて實利を收得するの策を講ぜざりしに因るならんか、ヨーロッパの多端なりし際殖民地は殆ど全滅に歸したり、然れども本國の富強は本業に至大の關係を有するが故に再興を圖るや半世紀にして殖民國中の第三位を占むるに至れり。

イギリス人は所謂先天的の殖民家、移民家なるにや、本業を企圖するに當りて、良土豊地の多くは他國に屬し、商權は先進者の専有する所なりしに拘らず、事を遠大に期し、強者と謀り弱者を抑へ、尺進に甘ずるを知りてしかも寸退を之に恐れ、主として領土の擴張を務め、遂に當今の如く空前の殖民的大帝國を構成するに至れり。

ロシア人

ロシア人の殖民事業を企圖するや、其の方法は全然他國

イタリヤ人

人のなす所と異なり、兵力を基とし宗教の幫助を受け、以て漸次に領土を擴張し住民を撫育し、國域の連綿として廣大なる實に古來無比の大北帝國を現出せしめたり。

イタリヤ人の斯業に於けるや成功少なし、是事業を企圖するに當り、其の方法に慎重を缺きたるの故ならん、然れども南アメリカに於ける移民には稍見るべきものあり。

ドイツ人

ドイツ人は戰勝の餘榮として本業を起し、僅に數十年にして約二百六十萬方秆の地と一千三百萬足らずの住民を領有するに至れり、されば世界の殖民國中にて第五位を占むるの名は存すれども、未利用の實を收むる能はざるが如し、然れども本國の生産大に増加し船舶の發達甚速なれば殖民事業も亦頗有望なりと云ふべし。

アメリカ人

アメリカ人は移民的イギリス人の子孫にドイツ人、イタリヤ人等を交へたるものなり、富源の饒多なる國土に據り増加の迅速なる住民に基づき、イスパニアが遺棄せし土地を收得し、一躍して殖民國の列に加はりたり。

日本人

日本人は徳川幕府が鎖國政策を執りしより、久しく海外に雄飛するの機を得ざりしが、明治維新の後、國勢大に發展して、南に臺灣を得、北に樺太を收むるに至りしのみならず、日韓協約は韓半島に於ける帝國の宗主權を認め、日清條約は我が國に關東州の租借權と南滿洲に於ける特殊の權利とを與へたり。

殖		國		面		人	
名		積		口		口	
1 イギリス		二六八二萬方秆		三、五五七萬人		二、七四三萬人	
2 ロシア		一七、〇〇〇萬方秆		一、二五〇萬人		一、二五〇萬人	

民		地	
3	フラン	5	ホルト
ス		ガル	
7	イタリ	9	日本
ア			
一〇六	五	三	一〇〇
五三	七	六	一〇〇
四	ドイ	8	合衆
ツ		國	
二五九	三〇	三	二五九
二七	三	元	二七

探檢

探檢とは地形、氣候、天産等に關する學術上の事實を研究するか若しくは拓地、通商、移民等に關する殖産上の事項を探究するの目的を以て實施せらるる事業を云ふ、斯る事業を企圖する者には特殊の智識、技能を要するは勿論なれども、亦有爲、着實等の美性を備へざるべからざるや明なり、而して探檢事業を實行せし人は古來少なからざるも、茲に近代の旅行者中にて、最、著名なるものを地方別にして列舉せ

アジア

んとす。

アジア洲に就きては我が日本を始めて西洋に紹介せし



るけ於に漠沙ンカマラグタ
行一のンゲヘンエフス

マルコポーロ(一二七一)

九一あり、蒙古、新疆、西藏

等の地を跋渉せしロシ

ア人のブリーエツルスギ

一(一八七〇)八八并に

一八九三年以來バミル

高原、西藏地方等に數回旅行せしスウェーデン人のスウェーデン、
デン、等最、名を知らる。

マルコポーロ

マルコポーロ(1254-1324)はイタリアのベネチアの人なり、十七歳の時(一二七二)父及叔父に伴はれてバレスチナのエーグルを發し、バグダード、バミル高原、カシガル、ヤルカンド等を経て漢土に達し一二七五、忽必烈の信用を得

て十七年間滞在せし後、スマトラ、印度、ペルシア等を経て故郷に歸りしが（二九五）、ベネチア、ジェノバの海戦の際捕はれて獄に繋がれたり而して同輩の某記者に口授せし東洋旅行談は廣く諸國の語に譯せられてジバンダ（日本國の名は高く聞ゆるに至れり）。

オセアニア洲

オセアニア洲に就きて最、有名なる探検者はオーストラリア大陸の南東岸（タスマニア）を發見せしオランダ人のタスマン（一六四四）、同大陸の地形を知悉したるイギリス人のフリンダース（一七九八—一八〇二）等にて、殊に著大なる功績ありしはクックなりとす。

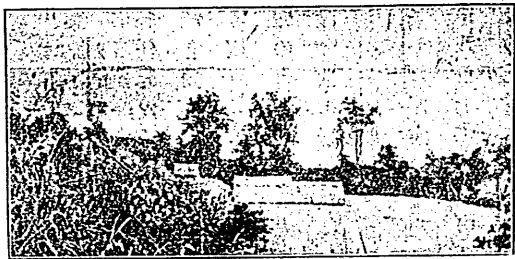
クック

クック（1731—1779）はイギリスの人なり、第一旅行（一七六八—一七七一）に於てタヒチ島、ソシエテ諸島、ニュージーランド島等を巡視したる後にオーストラリア大陸の東岸に達し、第二旅行（一七七三—一七七四）に於てマルキーズ諸島、トンガ諸島、新ヘブライズ諸島等を探究し、また新カレドニア等を發見し、第三旅行（一七七七—一七九）に於て北太平洋の各島を探検し、次で、ハワイ群島の地に

アフリカ洲

至り土人の毒手にかかりて落命せり。

アフリカ洲を探検せし旅行者も少なからず、始めてグロ



ループーキンタス
爲な池水潞大一の軒方十百二てれま園に山品水が河ゴンゴ
りな之ち即す

ドホープ岬（喜望岬）を廻航して印度に達せるポルトガル人のバスコダガマ（一四九七）あり、スダン地方に於けるドイツ人のバルト（一八五〇—一八五五）南アフリカの探検に盡力したるリビングストン（一八五三—一八七三）有名なるスタンリー、南アフリカの横斷旅行に先登第一の名譽を得たるイギリス人のカメロン（一八七三—

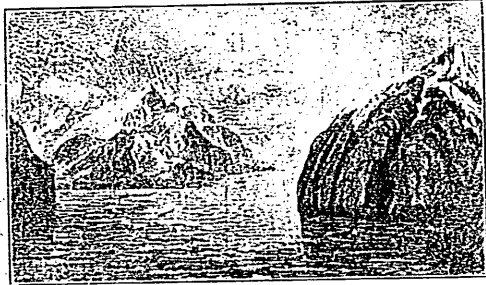
|| 七五 || サハラを探究せしフランス人のフォーロー(一八八四
|| 一九〇〇 ||)等あり。

リ
ビ
ン
グ
ス
ト
ン

リビングストン(1813-1893)はスコットランド人なり、宣教師としてケープに赴任したる後、漸次に北上してニール湖附近を視察し(一八四九)ザンベジの上流を溯りてロアンダに出て(一八五一)五四ザンベジの流域ヌヤナ湖地方に旅行を試み、ニール河の水源を探究する際不幸にして病歿したり、博愛主義の人としては大に黒奴廢止に力を致し、探検者としては南アフリカの内部を世に紹介したり、實に有數の人傑と稱すべし。

スタンリー(1841-1904)はウールズの人なり、一千八百七十一年リビングストン搜索の爲、ザンジバルを發し、ウジジに至りて目的を果しぬ、次いで一千八百七十四年内部探査の途に上り、アルベルトヌヤンザ、タンガニイカを探検し遂にルアラバ(コンゴ)を下り(一八七六)七七、コンゴの流域に就きて大に事情を明ならしめたり、而して當地方の發達を計らんが爲、一千八百七十九年萬國アフリカ協會よりアフリカに派遣せられ、コンゴ自由國の建設に與りて大なる力ありたり。

ア
メ
リ
カ
洲



マ
ガ
リ
フ
海
峽

アメリカ洲の探検に關しては有名なるコロンブスを始めとし、カナダに於けるベネチア人のギオバネチカボット(一四九七)、グイヤナに達せしフレンツ人のベスブチ(一四九九)、ブラジルに漂着せしポルトガル人のカブラル(一五〇〇)、ユガタン并にラプラタの沿岸を發見せるイスパニア人のビンソン(一五〇六)二〇、フロリダを發見したるイスパニア人のボンスデレオン(一五一二)、パナマ地峽の第一横斷者たるイスパニア人のバルボア、アメリカ南端の海峽を通過せるマガリフ、エンス、始めてセントローレンス河を

溯航したるフランス人のカルチエー(一五三四—四三)南アメリカ及びメキシコに旅行せしドイツ人のフンボルト(一七九二—一八〇四)等あり。

コロンブス

コロンブス(1446—1506)はイタリアのジェノバに生れ長じてイスパニアに仕へ女皇イサベラの補助に依りて新世界を發見するの榮を得たり、第一旅行(一四九二—九三)に於てグアナハニ、キューバ、ハイチ等を發見し、第二旅行(一四九四)に於て小アンチル諸島、ポートリコ、ジャマイカ等を發見し、第三旅行(一四九八)に於てオリノコ河の附近に到達し、第四旅行(一五〇三)に於てホンデュラス、コスタリカ等を發見せしも、其の功績は世人に認められず、憂苦の裡にイスパニアのセビリアに於て病没したり。

マガリアエンス

マガリアエンス(1480—1521)はポルトガルの人なり、イスパニア王カロロ五世の補助に依りサンカルの河口にありてを解纜し(一五一九)マデイラに寄港しブラジルの海岸を経りオデラプラタを探検し、一千五百二十年十月二十一日氏の名を残せるマガリアエンス(マガリアエンスのイスパニア的稱呼海

兩極地域

北極地方

峽の入口に達し同二十八日を以て太平洋^{同氏の命に保る}に出て翌年三月フィリッピン群島に達せしが不幸にして同群島の一なるマクタン島に於て土人の殺す所と成れり而して當初五隻二百六十五人より成りし船隊は幾多の困難を経て漸減じ唯一の殘艦ビクトリア號は十八員を搭載してグードホープ航路に依りてヨーロッパに歸着したり。

兩極地域とは北極及南極の附近を云ひ、未充分の探検を経ざる地域にして寒威酷烈、數月に亘る晝又は夜を見る。

北極地方はアジア、ヨーロッパ、アメリカの北部に於ける陸地并に北極洋を含む、同洋は大西洋の一部と見らるべきものに於て幅狭きベーリング海峡に依りて太平洋に通ぜり、此の地方の探検は有利なる海獸の捕獲若しくは太平洋と大西洋とを連絡すべき北西通路并に北東通路の探検に原由せしも、近時にありては專學術上の目的に據れるが如し。

北西通路

北西通路に就きてはイギリス人のカボット(一四九七)デ
ビス(一五八五)ハドソンバフィン(一六一六)バリー、ロス
ジョンフランクリン(一八四五)等の旅行を経てマッククリアー
(一八五〇)五三に至りて成功したり北東通路に關しても
探検を企てたるもの少なしとせず就中オランダ人のバレ
ンツ(一五九六)オーストリア人のバイエル及ワイプレヒト
(一八七二)七四等は稍著しくしてベーリング海峡に達せ
しはスウェーデン人のノルデンシェルド(一八七八)七九を以
て嚆矢とすまた北極に接近せし旅行者には北緯八十六度
十四分に達せしスウェーデン人のナンセン(一八九五)あり同
八十六度三十四分に達せしイタリア人のカニ(一九〇〇)同
八十七度六分に到りしアメリカ人のベアリー(一九〇六)あ

北極

北東通路

南極地方



【方 地 極 南】 山 火 ス ア レ エ

り此等探検の結果に據れば北極洋は周邊に淺く、内部に深
く、寒暖二種の海流並び存し、暖流の通ずる處は氷結せざる
ものの如し。

南極地方に關してはオランダ
人のデルクゲルリツ(一五九九)の
南極圈を超えたるを始とし、同圈
を三回通過せしクック(一七七二)
七五、ペテル及アレクサンデルの
兩地を發見せるロシア人のベリ
ングハムゼン(一八一九)二二、南
緯七十四度十五分に達せしイギ
リス人のウエデル(一八三三)、ルイフィ

リップ、ジオアンビイユ、アメリカ、等の地を發見せし、フランス人のデモンデルビイユ(一八三八||四〇)、ペテル地の東方を探究せしアメリカ人のウルクス(一八三八||四二)、ビクトリアの地を發見して南緯七十八度十分に達せしイギリス人のジームスロス(一八四〇||四三)あり、學術的探檢者として有名なるはグラハム地の西方に於ける群島及海峡を探查したる「ベルジカ」號のドジェルラーシヤ(フランス人)(一八九八||九九)南緯七十八度五十分に達せる「サザンクロス」號のポルフ、グレフィンク(ノルウェー人)(一八九八||一九〇〇)等にて、デスカバリ「號」のスコット(イギリス人)は南緯八十二度十七分に達したり(一九〇二)此等の探檢に據れば南極地方は北極地方と異なり、オーストラリアに多く譲らざる大陸塊ありて

南極洋之を圍むものの如く、ビクトリアの地にはエレブス、テロル等の火山あり。

◎ 概説

地球の表面に居住する人類は四圍の事情の影響を受けて外觀を異にし、言語、宗教、等を同じうせざるに至るも、各種の天産を利用し、之に適宜の製作を加へ、有無を交換して生存上の需用を充たさんと務むるは一なり、而して一定の土地に據りて團隊を作り主權者を戴く時に於て始めて國家なるもの成立す、現今宇内の諸國は其の主要なるもののみを數ふるも大小五十を超ゆるが、本國以外に殖民地を有するものは十餘國に過ぎず、中に就きて我が大日本帝國はイ

K220, 29-262

外國地理

ギリス、ロシア、合衆國、ドイツ、フランス等と共に國勢強大なりと稱せらる、然れども我が日本は他の列強に比して未及ばざる所少なしとせず、國民たるもの帝國をして益富強ならしむるの工夫を怠るべからず。

中等
教科
外國地理
終

明治四十一年九月十日印刷
明治四十一年九月十五日發行
明治四十二年二月三日修正印刷
明治四十二年二月六日再版發行



著者 野口保興
東京市本郷區西片町十番地

發行者 黑甚七
東京市京橋區南傳馬町二丁目五番地
電話本局二一六三番

發行所 河出靜一郎
東京市日本橋區通三丁目十番地
電話本局二七七七番

印刷者 佐久間衡治
東京市京橋區西紺屋町廿六、七番地

發行所 成美堂書店
東京市日本橋區通三丁目
振替貯金口座二八〇九番
振替貯金口座一七一九番

中等外國地理與附
定價
上巻 各金四拾五錢
下巻 各金四拾五錢



